

「高次脳機能障害者の医療・ケアに関する研修会」のご案内

日本脳損傷者ケアリング・コミュニティ学会

研修委員長 高橋 幸男

寒暖の差が大きいこの頃ですが、皆さまにおかれましてはご活躍のことと存じます。

さて、表記の研修会のご案内を申し上げます。

2001年、高次脳機能障害のモデル事業が国立リハビリテーションセンターの中島八十一氏が中心となり全国で始まりました。高次脳機能障害は脳の可塑性によりゆっくり半年～年単位で改善することがわかり、医療機関～地域のさまざまな施設、多職種のチームのかかわりが重要となっています。15年が経過する中で、さまざまな地域で研修会が実施されていますが、医療機関から地域まで広範囲にかかわれる医師はまだ少ないようです。

そこで、当学会で医師向けの研修会を企画し開催することにしました。当学会の特徴は企画・運営を脳損傷のある人、医療関係者などがともに意見交換して進めていることです。今回の研修会も、医療職だけでなく、脳損傷の人も講師になり、参加者といっしょに議論できる企画にいたしました。

ぜひ、医師の皆様のご参加をお待ち申し上げます。

問い合わせ先

154-0002 東京都世田谷区下馬 2-20-11 小畑ビル 303

日本脳損傷者ケアリング・コミュニティ学会事務局

TEL&FAX : 03-5432-9338

申し込み用紙

一般社団法人日本脳損傷者ケアリング・コミュニティ学会事務局宛

返信先 F a x : 0 3 - 5 4 3 2 - 9 3 3 8

お名前： _____

ご所属機関名： _____

連絡先ご住所：〒 _____

T e l : _____

F a x : _____

M a i l : _____

*連絡先希望に○を付けてください。メールの場合は、明確にお書きください。

懇親会：下記に☑をつけてください

懇親会(5000円)

参加

不参加

一般社団法人日本脳損傷者ケアリング・コミュニティ学会
高次脳機能障害者の医療・ケアに関する研修会

日時：2017年3月25(土)～26(日)

場所：(公社)日本理学療法士協会 田町カンファレンスルーム

〒108-0023 東京都港区芝浦3-5-39 田町イーストウィング6階

募集人員：医師30名(申し込み人数になり次第締め切り)

参加費：10000円 懇親会費：5000円

プログラム

3月25日(土)

- 11:00 当学会と研修会の説明
- 11:15 「高次脳機能障害の全国プロジェクトの概要」
中島 八十一(国立リハビリテーション病院 学院)
- 12:15 昼食
- 13:15 「高次脳機能障害の理解と脳の可塑性」
長田 乾(横浜総合病院 神経内科医)
- (10分休み)
- 14:25 「失語症、右不全麻痺の体験から」
長谷川 幸子(看護師)
- (15分休み)
- 15:40 「高次脳機能障害とともに21年の体験から」
今井 敏夫、今井 雅子
- (10分休み)
- 16:50 事例検討あるいは質疑応答
- 18:00 終了
- 18:30 懇親会(20:30 終了)

3月26日(日)

- 9:00 「高次脳機能障害者の地域ケア～主体性の再構築～」
長谷川 幹(三軒茶屋リハビリテーションクリニック)
- (10分休み)
- 10:10 「高次脳機能障害者に対する就労準備支援～障害の気づきへの介入～」
駒井 由起子(目黒区高次脳機能障害者支援センター 作業療法士)
- (10分休み)
- 11:20 「失語症とは～失語症に酷似した発話障害の経験から～」
関 啓子(三鷹高次脳機能障害研究所 言語聴覚士)
- 12:20 修了